

～ 三沢まつりの歩み ～



令和6年度 山車合同運行参加全12祭礼 30ロード集結時

I 【歩 み】

大正11年に開通した、私鉄十和田鉄道の軌道工事が困難であったため、資材や米俵の運搬用に荷車が利用されていたことから、俵を積んだ荷車が山車のはじまりと言われており、その後、八戸三社大祭を参考に、山車の自作や借用などの方法により、古間木地区の商人と住民らが祭りを作り上げました。

大正時代、古間木地区（JR三沢駅周辺）ではたいへん火事が多かったらしく、そのため、古間木地区にある不動神社、権現神社、薬師神社の神々を楽しく遊ばせることにより、火を鎮めようと考えられたのが祭りのはじまりとされております。

当時、不動神社が権現神社を誘い、薬師神社に二晩泊まり、そして権現神社、不動神社へそれぞれの神々が帰ったことから、現在の祭り期間が三日間となっています。

記録写真によると、大正14年9月のはじめに第1回目の三社大祭が開催され（祭り活性化委員会で確認「写真保存」）本年で100年の節目を迎えました。

その間、三沢まつりは、前夜祭行事の祭囃子競演会の実施や山車展示、山車合同運行のコース、中日行事の形態など様々に変化を重ねてきました。中でも山車牽引禁止問題が発端となり、全祭礼と協議を重ね、三沢市の絶大なるご支援を頂き、平成15年からは参加全祭礼（15祭礼）が自作山車となり新たな三沢まつりが誕生いたしました。

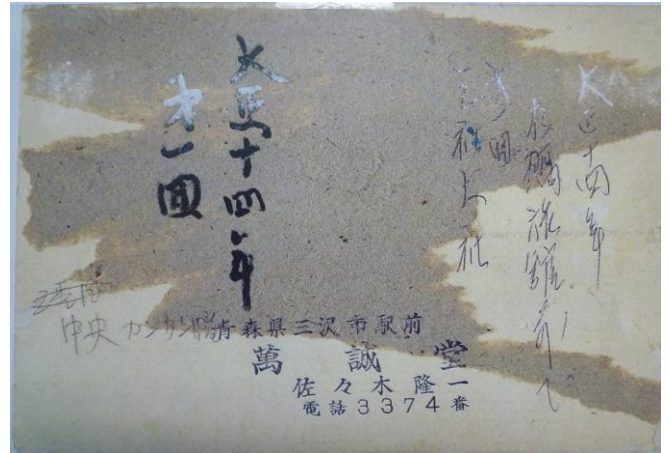
アニメなどユニークな題材の山車や三沢ならではの題材の山車が製作され、沿道の観客を楽しませております。また、平成16年から30ロード周回の「山車別れ」や平成19年から山車合同夜間運行を実施するなど進化を経て、三沢市の伝統行事として継続して現在に至っております。

Ⅱ【経緯】

●大正14年9月：第1回三社大祭開催。



●大正14年9月：第1回三社大祭開催記録。



●昭和初期：古間木三社大祭（十鉄駅付近）。



●昭和20年中頃：古間木三社大祭。



●昭和30年：古間木三社大祭（銀座通り）。



●昭和30年頃：古間木三社大祭。



●昭和37年8月：三沢三社大祭。



●昭和43年8月：三社大祭から三沢まつりに名称を変更し開催（三沢市商工会史）。

●昭和44年8月：前夜祭行事として祭りばやし競演会がはじまる。場所：市民会館前／舞台：三沢米軍基地より借用した大型トレーラー。

●昭和45年8月：古間木地区祭礼と中央地区祭礼が運行コースの対立により、古間木地区だけでお祭りを開催し6台の山車運行となる。

●昭和46年8月：運行コースについて古間木地区祭礼と中央地区祭礼が和解し、従来どおり三沢まつりとして1本化し開催。

●昭和49年8月：三沢まつりの運営を三沢市商工会が行う。



●昭和51年8月：前夜祭行事の祭りばやし競演会会場を中央公園に移し開催。



- 昭和53年8月：前夜祭行事の祭ばやし競演会を三沢基地内で米軍花火大会と同時開催。
当日は基地開放となる。舞台：三沢米軍基地より借用した大型トレーラー。



- 昭和55年8月：2年間三沢基地内で開催した祭ばやし競演会であったが、競演会出演者の搬送問題や米軍同時開催の花火大会により観客数の減少などから会場を以前の中央公園で開催することとなった。しかし、悪天候により市立体育館にて開催。また、連日の悪天候により中日行事は中止となり、最終日は御神輿だけの運行となる。



- 昭和56年8月：太平洋横断50周年を記念し「三沢独自の特徴あるまつり」として、三沢JC主管による日米合同のカーニバル、みこしパレード、ねふた運行等「第1回三沢国際まつり」が開催される。



- 昭和58年8月：前夜祭行事の祭ばやし競演会を公会堂大ホールで開催。会場は満席状態で賑わう。



- 平成4年8月：中央公園で山車展示と併せた前夜祭行事を試みた結果、雨にもかかわらず3台の山車が公会堂前に展示。
- 平成5年8月：前夜祭行事として10台の山車を中央公園に展示。また、祭りばやし競演会を各山車で演奏を行い、大勢の観衆で賑わう。



- 平成9年8月：平成8年にオープンしたミスピードームで過去最高の14台の山車展示と併せた前夜祭を開催し大盛況。



- 平成14年8月：16台の山車展示と合同運行（うち自作1台）。

- 平成15年8月：山車の自走、牽引禁止問題を受け全祭礼が山車を自主製作。「新生三沢まつり」とし15台の自作山車展示と合同運行。／テーマ：「再出発」。



- 平成16年8月：15台の自作山車展示と合同運行。30ロードを周回し初の「十五山車別れのけんか太鼓」を実施。テーマ：再出発「第2ステージ」。

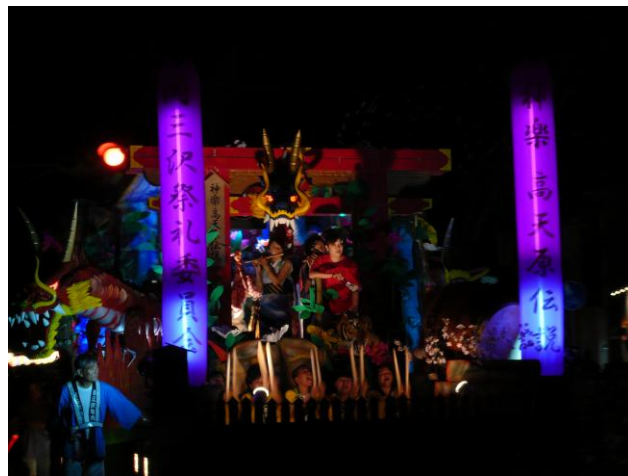


- 平成17年8月：15台の自作山車展示と合同運行。ファイナルイベントとして「十五山車別れのけんか太鼓」と「十五山車見送り（運営委員会）」を実施。テーマ：「燃える夏」。



- 平成18年8月：15台の自作山車展示と合同運行。一部祭礼30ロードにて待機合流。ファイナルイベントとして十五山車見送りは実施せず。テーマ：「燃える夏」。

- 平成19年8月：三沢市の意向により、委託事業から補助事業に移行され、三沢市商工会が単独主催者となる。15台の自作山車展示と合同運行。初めて御神輿渡御及び山車の合同夜間運行を実施。テーマ：「燃える夏」。



- 平成20年8月：雨天のためビードルドームでの山車展示は中止。祭りばやし競演会は公会堂大ホールで開催。公会堂での開催は平成8年に行われてから実に12年ぶりの開催となった。会場はほぼ満席の状態で賑わう。



- 平成21年8月：前夜祭を含む4日間天候に恵まれ成功裡に終了。
- 平成22年8月：連日、最高気温が30度を超える灼熱の太陽のもと、熱中症の多発が心配されたところであるが、全日程を事故も無く無事終了。流し踊りに「三沢よいとこ音頭」が新たに組み入れられる。テーマ：「夜空に燃え上がる伝統と情熱」。



- 平成23年8月：前夜祭は雨となり、まつり期間中の天候が心配されたが、期間中は祭り日和に恵まれ事故もなく成功裡に終了。テーマ「此处には三沢の夏がある」。



- 平成24年8月：まつり初日のお通りは雨天のため中止、その他の行事は天候に恵まれ、事故もなく予定どおり実施され無事終了。テーマ「三沢の夏・情熱の夏」。
- 平成25年8月：好天に恵まれ4日間成功裡に終了。今年度は、参加祭礼14祭礼と1祭礼少なくなったが「真夏の空に燃え上がる伝統と情熱」をテーマに実施。



- 平成26年8月：90周年を迎えた三沢まつりは「三沢の夏が燃える」をテーマに実施。周年事業として「三沢まつり 90 周年パネル展」や中日行事に近隣地域の「ゆるキャラ」を招致し賑わいを創出。事故も無く4日間成功裡に終了。





- 令和2年、令和3年と新型コロナウイルス感染症の流行を受け、中止。
- 令和4年8月：新型コロナウイルスワクチンの普及もあり、感染対策を講じた上で、中日を中止する・夜間運行を行わない等の規模縮小にて実施。合同運行への参加は7祭礼。テーマは「繋いでいく伝統」。



- 令和5年8月：新型コロナウイルスが2類から5類へ移行したこともあり、コロナ禍前の形へ復活させ、実に4年ぶりの通常開催となった。4日間天候に恵まれたが、連日最高気温が30度を超える暑さであった。合同運行・競演会共に12祭礼が参加、大きな事故もなく無事終了した。テーマは「共に歩んだ歴史と軌跡 新たな時代へ」。



- 令和6年8月：大正14年9月の第1回三社大祭から100年目を迎える。三沢市全体が参加するまつりを目指し、市内小中学校・高校への流し踊り参加呼びかけや、昨年からの民俗芸能を山車運行経路で披露する等の取り組みを行い、さらに中日イベントに趣向を凝らし誘客事業を強化した。比較的天候に恵まれ、合同運行・競演会共に12祭礼が参加。テーマは「伝統の誇り 未来への継承」



Ⅲ 【祭ばやし競演会及び山車審査歴代優勝・最優秀賞チーム】

年度	祭ばやし競演会優勝	山車審査最優秀賞
平成 元年（1989）	本町四丁目祭礼	
平成 2年（1990）	岡三沢祭礼委員会	
平成 3年（1991）	岡三沢祭礼委員会	
平成 4年（1992）	岡三沢祭礼委員会	
平成 5年（1993）	岡三沢祭礼委員会	
平成 6年（1994）	岡三沢祭礼委員会	
平成 7年（1995）	新町祭礼委員会	
平成 8年（1996）	平畑祭礼委員会	
平成 9年（1997）	平畑祭礼委員会	
平成10年（1998）	銀座連合町内会祭礼	
平成11年（1999）	岡三沢祭礼委員会	
平成12年（2000）	平畑祭礼委員会	
平成13年（2001）	平畑祭礼委員会	
平成14年（2002）	平畑祭礼委員会	
平成15年（2003）	平畑祭礼委員会	中央町一丁目祭礼
平成16年（2004）	ふるまき祭礼委員会	中央町一丁目祭礼
平成17年（2005）	平畑祭礼委員会	大通り祭礼委員会
平成18年（2006）	平畑祭礼委員会	平畑祭礼委員会
平成19年（2007）	薬師町祭礼委員会	中央町一丁目祭礼
平成20年（2008）	ふるまき祭礼委員会	幸町一丁目祭礼委員会

平成21年（2009）	三沢市職員互助会	平畑祭礼委員会
平成22年（2010）	平畑祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会
平成23年（2011）	幸町一丁目祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会
平成24年（2012）	平畑祭礼委員会	中央町一丁目祭礼
平成25年（2013）	ふるまき祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会
平成26年（2014）	ふるまき祭礼委員会	平畑祭礼委員会
平成27年（2015）	平畑祭礼委員会	平畑祭礼委員会
平成28年（2016）	三沢市職員互助会	中央町二丁目祭礼委員会
平成29年（2017）	ふるまき祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会
平成30年（2018）	平畑祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会
令和 元年（2019）	平畑祭礼委員会	幸町一丁目祭礼委員会
令和 4年（2022）	ふるまき祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会
令和 5年（2023）	幸町一丁目祭礼委員会	平畑祭礼委員会
令和 6年（2024）	幸町一丁目祭礼委員会	中央町二丁目祭礼委員会

【平成27年度】



《山車審査最優秀賞》
平畑祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
平畑祭礼委員会

【平成28年度】



《山車審査最優秀賞》
中央町二丁目祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
三沢市職員互助会

【平成29年度】



《山車審査最優秀賞》
中央町二丁目祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
ふるまき祭礼委員会

【平成30年度】



《山車審査最優秀賞》
中央町二丁目祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
平畑祭礼委員会

【令和元年度】



《山車審査最優秀賞》
幸町一丁目祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
平畑祭礼委員会

【令和4年度】



《山車審査最優秀賞》
中央町二丁目祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
ふるまき祭礼委員会

【令和5年度】



《山車審査最優秀賞》
平畑祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
幸町一丁目祭礼委員会

【令和6年度】



《山車審査最優秀賞》
中央町二丁目祭礼委員会



《祭ばやし競演会第1位》
幸町一丁目祭礼委員会